

羊のためにいのちを捨てる

ヨハネの福音書 10 章 11-18 節

はじめに

今年から、第五週がある時の説教は、キリスト教の基本的な教理を説教することになっています。今日は、イエス様は誰のために十字架に架かって死なれたのか、ということについてお話ししたいと思います。

1. イエス様は、私たちの牧師？である

イエス様は 11 節で、「わたしは良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます」と言われました。この「牧者」という言葉は、ギリシヤ語の「ポイメーン」という言葉ですが、他の個所で「羊飼い」と訳されたり、「牧師」と訳されたりします。

この言葉が「牧師」と訳されるのは、聖書の中で一回しかありません。それは、エペソ 4：11 で、「**キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師または教師としてお立てになりました**」とあります。他の場合はすべて「羊飼い」または「牧者」と訳されるのです。

何が言いたいのかというと、一つは、「牧師」というのは「羊飼い」「牧者」のことであるということです。イエス様が、「良い牧者は羊のためにいのちを捨てます」と言われたように、良い「牧師」は、信徒のためにいのちを捨てなければなりません。牧師は、命をかけてやらなければならないということです。

12 節には、「**牧者でない雇い人は、羊たちが自分のものではないので、狼が来るのを見ると、置き去りにして逃げてしまいます。それで、狼は羊たちを奪ったり散らしたりします。彼は雇人で、羊たちのことを心にかけないからです**」とあります。雇い人は、命を懸けません。牧者に雇われただけなので、給料さえもらえればそれで良いのです。自分の命の危険が起きると、逃げちゃうのです。

牧師は、雇い人のようであってはなりません。牧師は命を懸けなければなりません。イエス様はペテロに、「**わたしの子羊を飼いなさい**」(ヨハネ 21:15)、「**わたしの羊を牧しなさい**」(ヨハネ 21:16)、「**わたしの羊を飼いなさい**」(ヨハネ 21:17)と三度言われました。イエス様はいずれも、「わたしの羊」と言われました。「牧師」というのは、イエス様に代わって、「イエス様の羊」を守り、養うのです。

牧師は、信徒を「自分の羊」だと勘違いしてはなりません。信徒はあくまでも「イエス様の羊」であることを忘れてはなりません。牧師は、イエス様から「イエス様の羊」を預かっているのです。

先週の説教でお話したように、私たちクリスチャンは「管理者」です。牧師は、イエス様から教会の管理を任されています。そして「イエス様の羊」を管理することを任されています。「イエス様の羊」を養い、育て、守らなければなりません。そしてやがてイエス様に、教会を、また「イエス様の羊」をどのように管理したか、それをしっかり養い、育て、守ったかが問われるのです。それによって、「良い忠実なしもべだ」と言われて報いを受けるか、それとも「悪い怠け者のしもべだ」と言われるかが決まるのです。

もう一つ私が言いたいのは、イエス様は私たちの「本当の牧師」であるということです。私たち牧師は、「本当の牧師」であるイエス様の代理に過ぎません。イエス様こそ、牧師の中の牧師です。その意味で私たち一人ひとは、イエス様にこそ養われ、育てられ、守られなければなりません。一人ひとりが、イエス様としっかり繋がり、イエス様にこそ牧会されなければなりません。

そのためには、日曜日の礼拝だけでなく、毎日自分で聖書を読み、祈り、デボーションをすることが大切です。個人的にイエス様と交わりの時を持つことが大切です。それでこそ、イエス様に牧会されていると言えるのです。

2. イエス様は、羊のためにいのちを捨てる

私たちの本当の牧師であるイエス様は、私たちのためにいのちを捨ててくださいました。十字架で血を流し、私たちの罪を償い、私たちの罪を清めてくださいました。

イエス様は、「羊のためにいのちを捨てます」と言われましたが、その羊とは、誰のことでしょうか？ヨハネの福音書 10 章には、牧者と羊のたとえが書かれていますが、イエス様がいのちを捨てると言われた羊の特徴は、①イエス様の声を聞き分ける（イエス様の声を知っている）、②イエス様について行く、③イエス様を知っている、④イエス様を信じている、という人たちです。つまりイエス様は、私たちクリスチャンのために、命を捨てられたのです。それは、私たちがイエス様を信じたから、いのちを捨ててくださったわけではありません。イエス様がいのちを捨ててくださったからこそ、私たちはイエス様を信じることができたのです。

父なる神様は、私たちを「世界の基が据えられる前から」、ただ恵みによって選んでくださいました。そして父なる神様は、御自身が恵みによって選んだ私たちを、イエス様に委ねてくださいました。そしてイエス様は、父なる神様に委ねられた私たちのために、十字架で血を流され、いのちを捨てられたのです。

イエス様は決して、全人類のためにいのちを捨てられたわけではありません。イエス様は、父なる神様にただ恵みによって選ばれた私たちのために、命を捨ててくださったのです。そうでなければ、イエス様の血の一部は、無駄に流されたことになってしまいます。イエス様は、父なる神様がただ恵みによって選ばれた私たち一人ひとりのために、確実に血を流し、贖いを成し遂げてくださったのです。

3. イエス様は、囲いに属さないほかの羊たちをも導く

イエス様は 16 節で、このように言われます。「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊たちがいます。それらも、わたしは導かなければなりません。その羊たちはわたしの声に聞き従います。そして、一つの群れ、一人の牧者となるのです」。

イエス様は、イエス様を信じる私たちの他にも、いのちを捨てる羊がいると言われます。それは、今は教会の外にいる、これからイエス様を信じる人たちです。

私たちは、イエス様が誰のためにいのちを捨てられたのかは分かりません。しかし、イエス様がいのちを捨てられた人は、まだまだ沢山いると信じています。

イエス様は、コリントの町で伝道していたパウロに向かって、このように言われました。「**恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるので、あなたを襲って危害を加える者はいない。この町には、わたしの民がたくさんいるのだから**」(使徒 18:9-10)。この地域にも、私たちの家族や友人の中にも、まだまだイエス様がいのちを捨てられた「イエス様の羊」が沢山いると信じています。だからこそ私たちは、恐れなくて語り続けなければなりません。伝道し続けなければなりません。イエス様がいのちを捨てられた「イエス様の羊」は、イエス様の声を聞き分けるので、確実にイエス様を信じるようになります。私たちはそのことを信じて、希望をもって伝道し続けなければなりません。

おわりに

イエス様は、私たちのためにいのちを捨ててくださいました。私たちは父なる神様に、ただ恵みによって選ばれ救われました。私たちは、その恵みを受けるだけでなく、応えなければなりません。イエス様は、私たちのためにいのちを捨ててくださいましたが、私たちはイエス様のために何を捨てるのでしょうか？

イエス様は言われました。「**だれでもわたしに従って来なければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい**」(マルコ 8:34)。イエス様は私たちに、自分を捨てることを求めておられます。自分を捨てるとは、自分を神様に献げることです。パウロもこう言いました。「**あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です**」(ローマ 12:1)。私たちのためにいのちを捨ててくださいましたイエス様の前に、私たちは自分自身を献げることが求められています。それは、「献身」と呼ばれます。お金を献げるとは、「献金」と呼びますが、自分自身を献げるとは、「献身」と呼びます。

「献身」と聞くと、牧師や宣教師になることと思われることもあります。しかし、自分を神様に献げる「献身」は、すべてのクリスチャンに求められていることです。「献身」とは、神様を第一にし、神様に従っていくことです。「献身」とは、自分を第一にし、自分に従っていくことから、神様を第一にし、神様に従っていくことへと人生を方向転換することです。

献身は、職業の問題ではありません。クリスチャンとしての生き方の問題です。私たちは、主婦として、会社員として、学生として、イエス様に献身していくのです。

私たちは、神様に恵みによって選ばれ、イエス様にいのちを捨てていただいて救われたのです。その恵みに私たちはどのように応えていくのでしょうか？イエス様は言われました。「**受けるよりも与えるほうが幸いである**」(使徒 20:35)。私たちは、私たちのためにいのちを捨ててくださったイエス様の前に、何を捨てられるでしょうか？何を献げられるでしょうか？ぜひ祈りの中で、自分が何を捨てられるか、何を献げられるかを求めていきましょう。

天におられる私たちの父である主なる神様。

あなたが世界の基が据えられる前から、ただ恵みによって私たちを選び、イエス様に私たちを委ねてくださいました。

救い主イエス様。あなたは、父なる神様に委ねられた私たちのために血を流し、いのちを捨て、私たちの罪の償いを成し遂げてくださり、救いの道を開いてくださいましたことを感謝します。

私たちは、あなたの恵みにどのように応えるべきでしょうか？あなたは私たちに献身を求めておられます。あなたを第一にし、あなたに従っていくことを求めておられます。私たちは、自分自身をあなたに献げます。あなたを第一にし、あなたに従っていくことができますように。

またあなたは、私たちの他にも、まだいのちを捨てられた「あなたの羊」が沢山いると言われました。どうか私たちを用いてくださり、私たちが希望をもって伝道し続けることができますように。

この祈りを、私たちの本当の牧師であるイエス様の御名によってお祈りします。アーメン。